

オーケストラ・フィルジツヒ

第10回演奏会

嶋津武仁

聖歌(世界初演)

ベートーヴェン

交響曲第9番 ニ短調 作品125「合唱付」



Hiroyuki Takahashi

芸術監督:嶋津 武仁

指揮:高橋 裕之

阿部 絵美子(ソプラノ)

星 由佳子(アルト)

星 弓彦(テノール)

佐藤 一成(バリトン)

合唱:Chor Pfirsich(コア・フィルジツヒ)



Emiko Abe



Yukako Hoshi



Yumihiko Hoshi



Kazunari Sato

2014年2月11日(火・祝)

開場 14:00 開演 14:30

福島市音楽堂 大ホール

全席自由 一般 1,000円 高校生以下 800円

チケット取扱い:

あきたや楽器店、日野屋楽器店、管楽器専門店“BRILLIANT”

中合福島店、ダイユーエイトMAX福島店チケットぴあ、福島市音楽堂、福島県文化センター



お問い合わせ:pfirsich@pfirsich.jp

ウェブサイト: <http://www.pfirsich.jp>

主催: オーケストラ・フィルジツヒ

後援: 福島市、福島市教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ふくしまFM、福島コミュニティ放送FMボコ

協賛: 株式会社パナナ

助成: 芸術文化振興基金 福島県文化振興財団

Soloist Profile

阿部 絵美子 (ソプラノ)

宮城学院女子大学音楽科声楽専攻卒業、同大学音楽科研究生修了。読売新人演奏会、日演連新人演奏会出演。ユースクラシックコンクールにて最優秀演奏者賞受賞、大阪国際コンクール声楽部門入選。07、08年、イタリア・トリエステにてオペラマスタークラス受講、修了リサイタル出演。M. ティット氏のマスタークラスにてディプロマ取得。イタリア文化会館主催オペラコンサート等に出演。「フィガロの結婚」伯爵夫人、「蝶々夫人」蝶々夫人、ケイト。声楽を千田ふみ、故菅野絢子、姉齒けい子、鈴木知、故滝沢三重子、千代崎元昭、菅野宏昭、R・レードリャ、F・マッサ、M・クリスチャックの各氏に師事。オペラ解釈をG・クリスチャック氏に師事。現在、真白の会グループ“m”、MG4、felice、LeRose各会員。トスカニーニ・オペラ・アソシエーション所属。ヴォイストレーニングルーム・りりあ主宰。

星 由佳子 (アルト)

国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。大阪芸術大学大学院博士課程前期修了。ドイツ・BredelarのInternationaler Meisterkurs für Gesangにて、Uwe Heilmann氏のマスタークラスを修了。ブルガリア・ソフィア国際音楽祭、第154回日演連推薦／新人演奏会、山形交響楽団第九演奏会、ウクライナ国立キエフ交響楽団特別演奏会、大阪芸術大学特別演奏会等に出演。イタリア声楽コンクール、宝塚ベガ音楽コンクール、飯塚新人音楽コンクール等において入選。若き音楽家たちのコンサート(鹿児島県日置市)準グランプリ。大仙市大曲新人音楽祭コンクールグランプリ。これまでに声楽を橋本静一、渡辺多津彦、Kurt Widmer、三原剛、松本美和子、井岡潤子、Uwe Heilmannの各氏に師事。

星 弓彦 (テノール)

福島市出身。県立福島高等学校および国立音楽大学声楽学科卒業。在学中は「国立音楽大学合唱団」のテノールパートリーダーを務め、NHK交響楽団「第九」公演への出演は20回以上を数える。また、国立音楽大学オペラ研究会に所属し、モーツァルトのオペラを中心に取り組んだ。帰福後は、高等学校の教壇に立つ傍ら演奏活動を継続。文化庁地域芸術発進事業として上演されたオペラ「乙和の椿」東京公演に源義経で出演。また、福島オペラ協会公演では「蝶々夫人」のピンカートンで出演した。その他、宗教曲や合唱曲などのソリストを務めるなど、地元福島を中心に活躍している。現在、福島工業高等学校教諭。福島オペラ協会理事。

佐藤 一成 (バリトン)

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。福島大学大学院教育学研究科音楽教育専修修了。ブリリアントな声とコミカルな演技の両面で多方面から好評を博しており、これまでに県内外で数々のオペラやコンサートに出演している。特に日本歌曲の研究及び演奏を中心とした活動を行っており、これまでに日本歌曲のリサイタルを多数開催し、いづれも好評を博している。合唱指揮者としても県内の小中学校での指導やヴォイストレーニングを行っている。声楽を伊藤勲、藤田昌克、竹澤嘉明の各氏に、合唱指揮を故松井徹、D・サボーに師事。福島オペラ協会副理事長。ブリリアントふくしまプロジェクト同人。三春町立岩江中学校教諭。

Chor Pfirsich

コア・フィルジヒ (Chor Pfirsich) は、この演奏会のために編成された特設の合唱団です。ドイツ音楽を中心に演奏してきた当楽団ならではの「第九」の完成、さらには設立当初から掲げてきた理念である「福島の音楽文化」を体現すべく、共演することに賛同いただきました。メンバーは、主に福島市内の高校生、大学生を中心としており、福島高校合唱部、福島東高校合唱部、福島明成高校合唱部、川俣高校合唱部、福島大学混声合唱団、福島男声合唱団により構成されています。

指揮：高橋 裕之

福島市生まれ。福島高校卒業。福島大学大学院音楽教育専修(作曲・指揮)修了。これまでに阿部雅人、岡本美千代(ホルン)、嶋津武仁(指揮法・音楽分析)、井上宏一、クルト・レーデル、本多優之(指揮法)、金谷昌治(室内楽)の各氏に師事。2009・10年、下野竜也氏によるマスターコースを受講。2011年ブカレスト国際指揮セミナーにてウォルフガング・デュルナー氏に師事、ディプロマを取得。オペラ分野では、福島オペラ協会をはじめ各オペラ団体において副指揮者を務め、これまでに「椿姫」「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」を指揮。特に福島オペラ協会公演、喜歌劇「こうもり」の演奏は『音楽の友』誌上で好評を受けた。オーケストラ・合唱団等に客演する他、現代の作品にも意欲的に取り組む。ドレスデン音楽祭出演(ドレスデン国立歌劇場)。新作オペラ「いのち甦る」(金光威和雄作曲)初演を指揮。2013年1月にはバザルジク交響楽団(ブルガリア)に客演。

Orchester Pfirsich

オーケストラ・フィルジヒは、福島県に縁のある器楽奏者を中心に2003年に創立された、常設ではないオーケストラです。諸事情により常設のオーケストラ活動が困難な人、音楽教室の講師、各地の市民オーケストラに所属している人などにより構成され、音楽を愛する人の新たな交流の場となっています。そして限られた練習回数の中で、より質の高い演奏を行うことを目標に活動しています。芸術監督に作曲家で福島大学教授の嶋津武仁氏、指揮者に福島市出身で新進気鋭の高橋裕之氏を迎え、2004年2月に初の演奏会を開催。以後、毎回斬新なプログラムを取り入れ、バロックから現代まで様々なレパートリーへの挑戦を続けています。

楽団名となっている「Pfirsich」=桃は、福島の名産品です。その花が美しく咲き、香りが風に乘って届くように、また、その果実の芳醇な味わいが人を喜ばせるように、当楽団の存在が、音楽を愛する全ての方々にとって歓迎されるようにとの願いが込められています。



第1回演奏会 2004年2月21日 福島市音楽堂